

# 大支援研ニュース

特別支援教育

平成29年5月12日発行  
 大阪府支援教育研究会  
 会長 松本 啓史  
 (泉大津市立戎小学校長)

ホームページで  
 お知らせが  
 ある場合があり  
 ます

<http://daishienken.visithp.com/>

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。  
[jimukyoku2009@daishienken.visithp.com](mailto:jimukyoku2009@daishienken.visithp.com)

◇平成29年度の定例総会予定

日時：平成29年5月18日(木) 午後3時～5時 : たかつガーデン

◇平成29年度の役員総会予定

役員総会 (役員の方はご予約願います。)

- 第1回 日時：平成29年6月20日(火) 午後3時～5時 : たかつガーデン
- 第2回 日時：平成29年9月21日(木) 午後3時～5時 : たかつガーデン
- 第3回 日時：平成30年1月19日(金) 午後3時～5時 : たかつガーデン

**大阪府支援教育研究会定例総会の予定 総会案内は後日送付します。**

平成29年5月18日(木) 午後3時～5時 : たかつガーデン

議事：・事業・収支決算/会計監査報告の承認 ・規約改正 ・役員選出 ・事業計画・予算案の審議  
 情報提供：大阪府教育庁教育振興室支援教育課

**創立65周年記念研究大会 一次案内をご覧下さい**

平成29年8月10日(木) 午前9時30分～午後4時30分

大会テーマ 「大阪の支援教育10年 —専門性の継承とさらなる発展に向けて—」

主催 大阪府支援教育研究会  
 後援 大阪府教育庁 大阪市教育委員会 堺市教育委員会 (申請中)  
 日時 平成29年8月10日(木) 午前9時30分～午後4時30分  
 会場 大阪国際会議場 大阪市北区中之島 5-3-51  
 参加資料代 500円(資料・通信費)

日程	9:30	10:00	10:15	12:00	13:30	16:30
	受付	開会・挨拶・趣旨説明	講演	昼食	分科会	

講演演題 「涙も笑いも、力になる—院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと—」

講師 昭和大学 特任准教授 昭和大学病院 さいかち学級 副島賢和 氏

## 平成28年度大阪府教育庁支援教育課・府教育センター支援教育推進室との懇談会報告

～大阪府における支援教育の現状と課題～ [報告記事をご覧ください](#)

平成29年2月8日(水)、大阪府教育庁・府教育センターとの懇談会が行われました。研究会の本部役員、支部長、行事部員の参加のもと、教育庁から6名、府教育センターから1名参加していただき、「大阪府における支援教育の現状と課題」をテーマに懇談が進められました。

## 平成28年度冬季研修会 1月28日 たかつガーデン [報告記事とアンケートをご覧ください。](#)

今年の冬季研修会は、午前午後で4分科会を行いました。多くの方に参加していただき、有意義な研修とすることができました。講師の皆様、参加された方、どうも有り難うございました。早くに定員が充足したため参加できない方が多かったことお詫び申し上げます。

## 平成28年度夏季研修会報告

[報告記事とアンケートをご覧ください。](#)

今年度の夏季研修会は、立命館大学教授の宮口幸治先生をお招きし、「コグトレ～認知機能強化トレーニング体験と認知作業トレーニング・ワークショップ」という題で、8月1日14時からグランキューブ大阪で行いました。宮口先生は、これまで宮川医療少年院などで発達上の課題がある少年たちへの支援に長年取り組まれ、その成果を学校現場などに紹介している方です。

## 平成28年度施設見学研修会報告

[報告記事をご覧ください。](#)

～かんでんエルハート～2016年8月23日(火)①10時から11時30分②13時30分から15時

今年度の施設見学研修会は、住之江区にある「株式会社かんでんエルハート(重度障がい者多数雇用事業所)」を見学させていただきました。

今回は多数の参加申し込みが予想されたため、「かんでんエルハート」のご協力を得て午前と午後の2回に分けて実施しました。「かんでんエルハート」は大阪府・大阪市、関西電力が出資して第三セクター方式で設立された特例子会社で、20年以上の歴史があります。現在は住之江本社のほか、府下に3か所の事業所があり、知的障がいの方をはじめ、肢体不自由、聴覚障がい、視覚障がい、内部障がい、精神障がいの方が、それぞれの特性に配慮された職場環境の中で、各々の能力が発揮できる業務についておられます。

## 他団体の案内 [案内をご覧ください](#)

第56回 全日本特別支援教育研究連盟全国山口大会(第1次案内) 平成29年10月26日27日  
「志をもち、生きる力を共に高めあう子供たちの育成」～自立と社会参加をめざす特別支援教育の充実～

第54回 近畿特別支援教育連絡協議会 兵庫大会 平成29年8月4日(金)  
平成29年度 兵庫県特別支援教育研究協議会研究大会 播磨西大会

# 大阪府支援教育研究会 創立65周年記念研究大会

( 1 次 案 内 )

- ① 大会テーマ 「大阪の支援教育10年  
—専門性の継承とさらなる発展に向けて—」

② 趣 旨

大阪府支援教育研究会は大阪府下の支援学校、支援学級を設置する小・中学校（大阪市を除く）教職員、各種教育機関の職員、その他本研究会の趣旨に賛同する者で組織される支援教育の振興を図る団体です。

今年度、本会は創立65周年を迎えることとなりました。

前回（平成24年8月開催）の創立60周年記念研究大会から5年、障がい児・者を取り巻く環境は日々変化をしています。法整備の面などから振り返ると、「障害者の権利に関する条約」への署名や「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（通称「障害者差別解消法」）が施行されるなどの動きがありました。また、文部科学省は「障害者の権利に関する条約」をもとに、教育における「合理的配慮」のありかたを位置付け、各校においてその実行がなされていることと思います。

本年は「養護教育」から「支援教育」に、名称、内容を変更し10年の節目を迎える年でもあります。今大会では、これまでと同様に大阪府の支援教育の基本である「ともに学び、ともに育つ」を中心とした視点に立ち、めざす共生社会の中で、各学校園で推進できる「一人ひとりの多様な教育的ニーズ」に対応した支援教育について、それぞれの立場から考える機会にしていきます。皆様のご参加をお待ちしています。

- ③ 主 催 大阪府支援教育研究会  
④ 後 援 大阪府教育庁 大阪市教育委員会 堺市教育委員会（申請中）  
⑤ 日 時 平成29年8月10日（木） 午前9時30分～午後4時30分  
⑥ 会 場 大阪国際会議場 大阪市北区中之島5-3-51

- ・京阪電車中之島線「中之島（大阪国際会議場）駅」（2番出口）すぐ
- ・JR大阪環状線「福島駅」から 約1200m
- ・JR東西線「新福島駅」（3番出口）から 約800m
- ・阪神本線「福島駅」（3番出口）から 約800m
- ・大阪市営地下鉄「阿波座駅」（中央線1号出口・千日前線9号出口）から 約1200m

- ⑦ 参加資料代 500円（資料・通信費）

⑧ 日 程

9:30 10:00 10:15 12:00 13:30 16:30

受付	開会・挨拶・趣旨説明	講 演	昼食	分科会
----	------------	-----	----	-----

- ⑨ 講 演（10:15～12:00）

演 題 「涙も笑いも、力になる  
—院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと—」

講 師 昭和大学 特任准教授  
昭和大学病院 さいかち学級 副島賢和 氏

## 平成 28 年度大阪府教育庁支援教育課・府教育センター支援教育推進室との懇談会

～大阪府における支援教育の現状と課題～



平成 29 年 2 月 8 日（水）、大阪府教育庁・府教育センターとの懇談会が行われました。研究会の本部役員、支部長、行事部員の参加のもと、教育庁から 6 名、府教育センターから 1 名参加していただき、「大阪府における支援教育の現状と課題」をテーマに懇談が進められました。

研究会による今年度の活動について報告した後、以下の項目について府教育庁、府教育センターから情報提供をしていただきました。

- 1 大阪府内の小・中・義務教育学校における支援教育の現状と課題
  - 府内の児童生徒数が減少している中で、支援学級の在籍者と学級数は増加している。
  - 支援学級設置率は全国平均の 77%（H27）に対して、大阪府が 99.3%（H28）で全国 1 位である。障がい種別での設置を促進している。
  - 通級指導教室について、H28 年度は小学校 171、中学校 51、合計 222 教室の設置となっている。情報提供後に、国による通級指導の基礎定数化等に関する質問等があった。
  - 支援教育課による学校訪問が H28 年度は 39 市町村、42 校を対象に行われた。学校訪問の中で各学校が取り組んでいる基礎的環境整備や合理的配慮の提供について、具体的な事例を紹介していただいた。
  - 市町村医療的ケア体制整備推進事業を H18 年度より継続しており、H28 年度は 26 市町村で 115 校（2 月 1 日現在）に看護師が配置されている。
  - 個別の教育支援計画は、支援学級在籍の児童生徒について 100%作成されている。通級指導教室を含む通常の学級において、作成が必要と思われる児童生徒については、H28 年度は 95%の学校が作成に取り組んでいる（5 月 1 日現在）。すべての学校において取り組みができるよう進めていきたい。
  - 毎年度「個別の教育支援計画 作成・活用実践報告会」を開催しており、H28 年度は、富田林市の中学校における校種間連携での活用事例をはじめ、様々な発達段階における具体的な情報交換を行った。
  - H28 年 3 月に「個別の教育支援計画」の作成や活用のポイントを示したリーフレット「ともに学びともに育つ 一貫した支援のために」を作成した。府内の公立・私立の学校園所や関係部局等、広く配布し、活用促進を図っている。

- H27・28 年度文部科学省事業を受託し、府立松原高校をモデル校、枚方市と四條畷市をモデル地域に指定し、各学校段階の移行期における円滑かつ適切な引継ぎ方法・時期等に関する研究を実施。12 月に開催したフォーラムでは、府内の公立・私立各学校や関係機関等から 600 名超の参加があり、アンケートでは大変肯定的な回答を得た。
- 2 高等学校におけるともに学び、ともに育つ教育の推進について
    - 「知的障がい生徒自立支援コース」と「共生推進教室」について、リーフレットをもとに説明をしていただいた。授業形態や学籍、進路等、詳しく伺うことができた。
    - 高等学校において、支援の必要な生徒が増加している。自立支援コース設置校のうち 4 校が支援教育サポート校となり、支援学校と連携しながら高等学校の支援教育力向上に努めている。校内体制や教材教具、評定に関する助言、研修等が行われている。
    - 高校生活における合理的配慮や中学校から高等学校への引き継ぎ等について意見交流がされた。
  - 3 支援学校の現状と課題について
    - 旧大阪市立特別支援学校の府への移管により、府立支援学校は 44 校 2 分校となった。在籍数も増加しており、H28 年度の幼児児童生徒数は 9,160 人（平成 28 年 5 月 1 日時点。堺市立、八尾市立を含む）。特に知的障がい支援学校の小学部が増加傾向にある。
    - 大阪市から府に移管した 12 校のうち知的障がい支援学校 6 校（知肢併置校 1 校含む）に、H30 年度までに職業コースを設置予定である。
    - 免許法認定講習を今後も継続し、教員の専門性を高めていきたい。
  - 4 大阪府「支援教育地域支援整備事業」について
    - 事業の内容や今後の各地域ブロック内の連携体制について、資料をもとに説明していただいた。
  - 5 支援教育推進室の取り組みについて
    - 調査研究を行い、『見つめよう一人ひとりを』という冊子の改訂を行い、初任者研修等でも活用している。実践的な内容となっており、ホームページにも掲載されているので、さらに活用してほしい。
    - 今年度も府教育センターの研究フォーラムで講座を開催した。基礎的環境整備や合理的配慮に関する内容の講座で実践事例も紹介し、日々の指導や支援に活かせるようにした。講座の要旨もホームページに掲載していく予定である。
    - 来年度、支援教育推進室で実施予定の研修について説明をしていただいた。

支援を必要とする児童生徒が年々増加していることから、府教育庁や府教育センターが一人ひとりを大切にしたい多くの取り組みをされていることを強く感じるとともに、改めて大阪府の支援教育の素晴らしさを実感できる懇談会となりました。また、各部署での今後の課題についても知ることができました。来年度も大阪府の支援教育の発展のためにしっかりと取り組んでいきたいという思いをもちました。

大阪府支援教育研究会 行事部

## 大阪府支援教育研究会 2016年度 冬季研修会

2017年1月28日 たかつガーデン

今年の冬季研修会は、午前午後で4分科会を行いました。多くの方に参加していただき、有意義な研修とすることができました。講師の皆様、参加された方、どうも有り難うございました。早くに定員が充足したため参加できない方が多かったことお詫び申し上げます。

### A ソーシャルスキルトレーニングを活用しよう

早野 眞美 教頭先生、川口喜志子 先生、下野広文 先生、植野 耕司 先生  
(大阪府立箕面支援学校)



まず、人間関係づくりのトレーニングについて、次のようにひととおり順番に説明していただきました。わかっていたことも再整理できました。

ソーシャルスキルトレーニング (SST) とは、ソーシャルスキル (社会技能) を身につけるための訓練。人とうまく関わっていくための方法。

アサーショントレーニングとは、自分も相手も大切にしたい自己表現を身につけていく方法。

ライフスキルトレーニングは、日常生活をおくるために必要なスキルを身につけるトレーニングで、特に発達障がい生徒・児童に有効である。

構成的グループエンカウンターとは、リーダーが実施するエクササイズ、時間、参加人数など約束事を決めて心と心のふれあいを体験すること。

アンガーマネジメントとは、衝動的な怒りの感情やいらだちをうまくコントロールするための心理教育プログラム。

次にソーシャルスキルトレーニングの具体的な内容について順に説明いただきました。ソーシャルストーリー、絵に描いたり文字にしたりして伝える方法、絵カードを使ったSSTなど。

また、アサーショントレーニングでは、ジャイアン的コミュニケーションのやり方・のびた的コミュニケーションのやり方・しずかちゃんのコミュニケーションのやり方を、いろんな学校の先生が代わり代わりに演じることで学習しました。

後半は、実際にグループ (6人組みを8班) をつくり、2人組で自己紹介、さらに他己紹介、グループ内で共通するものを探したりしました。(構成的グループエンカウンター)

さらに、実際の場面を想定したSST演習を班で考え、最後に演じたりしました。

あっという間の時間が過ぎ、皆さん満足した講義になりました。



## B 子どもの実態把握について考える ～WISC-Ⅳの検査結果を支援に活かすために～

富田 淳 先生（大阪府立東住吉支援学校）

今回は WISC-Ⅳの検査内容はこのようなものです、というような説明ではなく、検査結果をどのように支援に活かしていくかということをお話していただきました。

心理検査は、検査を受ける者の相談内容がまずあり、その答えを得るために実施することに目的があります。単に診断名を付けることではなく、治療や改善といった支援介入や環境調整の為の手がかりを得るためのものです。日頃の行動観察と検査結果とを照らし合わせて、よりよい生活に向けて考えていくものです。

全体検査 IQ (FSIQ)、言語理解指標 (VCI)、知覚推理指標 (PRI)、ワーキングメモリー指標 (WMI)、処理速度指標 (PSI) の5つの合成得点の結果により、子どものわかりにくさや、処理のしにくさが分かれば、大人の理解や対応、教材の指導方法、座席位置などの工夫をする手だてにつながります。

具体的な事例を提示していただき、分かりやすく説明して下さることで、実態把握の重要性についてあらためて認識させられました。検査の結果を知り、それを実際に具体的な支援にどう結び付けるか、理解を深められる学びができました。

最後は全員で、「むすんでひらいて」の「て」を歌わないにチャレンジしました。意外と難しく最初は間違えてしまう人が多かったのですが、歌詞が画面に出て、次に「て」の部分が色で付けられると間違えにくくなりました。視覚情報があるのとないのとではかなり違うということを感じることができました。

これから、もっといろんな事例を知りたい、もっと詳しく学びたい、という思いをいただいた講座でした。



## C ビジョントレーニング ～見ることは分かること～

榎場 政晴 先生 (大阪府立茨木支援学校)



まず、最初に、視機能のチェックリストを紹介していただきました。子どもたちの様子をチェックすることで、視機能の課題が、入力や情報処理・出力のどこにあるかがわかります。特に視機能の情報処理については、頭の中でイメージすることがいかに大切かを知りました。

次に、教材を体験しました。竹串とビーズを組み合わせたグッズで、「注視」と「追視」「跳躍視」の練習の仕方や実施するときのコツを教えてくださいました。実際に二人一組になって行くと、やり方がよくわかりました。そのあと、子どもが追視

や跳躍視を行っている映像を見ました。跳躍視を目的にした教材「絵カード探し」に挑戦していました。練習を重ねると、かなりスムーズに跳躍視することができるようになるのだということがわかりました。

最後に、榎場先生が前日に夜なべして作成したというジオボードの体験をさせていただきました。提示用は、透けなくて見やすい白いベニヤ板、子ども用は、透明の亚克力板になっています。透明なのは提示用のジオボードや見本のプリントを重ねた時に見やすいからです。榎場先生曰く、「プリントで点つなぎをするのと比べるとジオボードを併用した場合、学習効率が格段高くなる」とのことでした。手と指を实际使うことが大切なのだろうとのこと。このジオボードの練習をすることによってひらがなの拗音や漢字を書字するときのマスの使い方が改善された様子や、また、見本を見てジオボード上に正しく形が作れるようになっていくにつれ、その子の描く絵が質的に変化していく様子を見せていただきました。

子どものことをよく見て、どこにつまずきがあるのかを知り、その子に応じた教材や課題を用意し、練習を続けていくことの大切さを改めて感じました。榎場先生の教材作りへの熱意を大いに感じ、見習わなければならないと強く思いました。

研修が始まる前から、「時間が惜しいから」と映像も流していただきました。まだまだ、先生のお話をきかせて頂いたり、教材を体験させて頂いたりしたかったです。時間が足りないと感じた、密度の濃い非常に有意義な時間でした。ありがとうございました。



## D 研究部担当 各地区からの実践報告

### すべての子どもたちにわかりやすい算数を

### —村上タイルを使った〈なんとなくわかる〉からはじめる算数—

坪郷 正徳 先生（大阪狭山市立第七小学校）

『すべての子どもたちに』坪郷先生のそんな熱い思いがたくさん詰まった2時間でした。すべての子どもたちにとって算数を学ぶ意味とはなにかというお話から、日々の実践をもとに有効な指導方法やそのための教材について、製作も含めて詳しくお話頂きました。

計算の学習をする際、指を使ってなんとか答えを導きだそうとする子どもの姿をよく見かけます。数を「数えられる」が「数がわかる」ことが難しい。そのような子どもたちに、いかに数量イメージをつけさせていけばよいのでしょうか。坪郷先生が実践を進められている村上タイルをご紹介します。



#### 村上タイルの特徴

- ・同系色の2色で作られているので、一見で数量の判断がしやすい（数えない）
- ・補数が目に見える
- ・かたまりを意識できる

タイルを見て読む練習をくり返し、話しながらタイルをとって計算問題に取り組むことで、数量に触れて慣れる機会を増やし、数量感覚を育てていく。積み重ねることでイメージをもって計算できるようになる。イメージを手がかりに「なんとなくわかっていく」指導をめざしていく。

タイルの制作後も、制作したタイルの使用方法やWeb版の紹介、計算の型分けや補助記号のかかせ方などについても詳しく説明して下さいました。

また、講座終了後にもタイルの使い方を詳しく聞きに来られた先生や、数量の指導についてもっと詳しく教えてほしいという先生方に対して大変丁寧に、熱く応えて頂きました。

教材を教えて頂いただけでなく、参加した先生たちも元気をもらい、日々の実践への勇気をもてるような充実した時間となりました。

## 参加された方のアンケート集約

参加された皆様 アンケートご協力ありがとうございました。  
講師の方にお伝えするとともに、今後より良い取り組みを行えるようにするための参考にさせていただきます。

文章表記等、基本的にお書きになった原文そのままにしておりますが、一部、必要に応じて書き換えさせていただいておりますことご了承ください。

なお、同じような意見を複数の方がお書きになっている場合、割愛させていただいているものもあります。

### 1、各分科会について

#### A ソーシャルスキルトレーニングを活用しよう

早野 眞美 教頭先生、川口喜志子 先生、下野広文 先生、植野 耕司 先生  
(大阪府立箕面支援学校)

グループワークなど参加型の研修で良かった  
実践にすぐ役立つ研修だった  
講師の先生方の情熱に感動した  
等のご意見が多くありました



- ◎ 支援学級だけでなく、活用できるトレーニングの内容でした。障がいの有無とは関係なく人間関係づくりがむずかしいと感じている子どもも多いと思いますが、一人ひとりをつなげていくきっかけとしてどこかで活かしていきたいものです。
- ◎ 今まで本を読んで自己流でやっていましたが、基本の確認と大切にすべき事を学べました。過去、現在に関わった生徒についても何が必要で何をすべきかが少しわかった気がしました。
- ◎ 参加型の研修は苦手ですが、とても楽しくあっという間の時間でした。改めて、子ども達との関わり方と再確認できました。視覚的に教材をしっかりと利用していきたいと思います。
- ◎ ロールプレイなどの体験的なワークがあって楽しく学べた。構成的エンカウンターで他の受講生の人とも話ができ、その話をする過程で多少ともコミュニケーションが苦手な子の気持ちを感じることができたと思います。
- ◎ 今回、参加させていただいてよかったです。中学校に勤めており、通常学級との生徒との関わり方がむずかしいと困っている先生方に伝えていきたいと思いました。
- ◎ 演習があって、楽しく学べた。ライフスキルトレーニングをもう少し詳しくやって欲しかった。
- ◎ アンガーマネジメントがうまくできない子どもが多く、毎日けんかが起こります。ソーシャルスキルストーリーを知らせたり、ルールブックを見せたりすることである程度 衝動的な怒りの感情がおさえられるかもしれないと思いました。リフレーミングによって 自己評価を上げ、自信を持つことで子ども達はもっと楽で穏やかに過ごせるんだろうなと感じました。

- ◎ 本学級にも、友だちとの関わりがうまくいかず、トラブルを起こしてしまうA君がいる。高学年になって、友だちと遊びたい気持ちが強くなり、うまくいくこともあるが、言葉より手足が衝動的に出たり、くやしきから暴言が出たりすることがある。今日のロールプレイなどのワークもまじえた研修で、改めてA君のこと、彼の思いに寄り添ってサポートしていきたいと思った。リフレーミング、SST 頑張っ実践していきたい。箕面支援学校の先生方のパフォーマンス とても分かりやすかったです。明日からの支援にいかせていこうと思います。
- ◎ ソーシャルスキルの本などを読むことはありましたが、実際にどのように実施するのか、なかなかイメージできなかったのも、やってみてもこれで良いのかという不安はぬぐえないでいました。ですが、実際に体験的に取り組むことができたので、とても勉強になりました。
- ◎ 実践形式で大変有効でした。これほどの内容を準備されるのはすごく時間がかかり大変だったと思います。
- ◎ 講師の先生お一人お一人の人間関係づくりへの重い、支援教育への思い、素敵だなと思いました。
- ◎ 今すぐクラスに持って帰り使っていけそうです。とくに話し方は、今担任している1年生に伝えたいです。
- ◎ 話ばかりでなく、わかりやすい演技を入れていただいてよかったです。休日なのですが、参加してよかったですと思えました。
- ◎ 支援担2年目でソーシャルスキルの指導をどう行っていくべきか悩んでいたのですが、皆さんの話を聞いて、学校で試してみたいことがたくさん見つかりました。モデリングは、今までしたことがなかったので、これからいろいろと試して、子どもにあった方法を試してみたいです。
- ◎ 演習もたくさんあり、グループで話したり参加型なのがとてもよかったです。子どもにつけてあげたい力としてだけでなく、子どもと自分の関係づくりにも大切な力だと思いました。
- ◎ 具体的なソーシャルスキルトレーニングの例を教えていただいて良かったですし、書籍も紹介いただいてよかったです。
- ◎ 演習を入れていただいたので、なごやかに研修ができました。子どもたちが安心できる環境の中で、心をつなげて指導していくことの大切さを学びました。リフレーミングは、子どもたちに気づかせていきたいと思いました。
- ◎ おでこにシールを貼って声を出さずにグループを作る活動は、教師の研修のアイスブレイキングで使えるなと思いました。実際の場面を想定しての活動は大変有意義でした。  
現在、保護者の希望で、SST を手探りでやっています。(本人は全くやる気がありませんが…) それで本日の研修に参加させていただきました。SST も参考になりましたが、別の児童にアンガーマネジメントの手法が有効ではないかということに気がきました。
- ◎ 具体的実践の中からの提案で、わかりやすくとても有意義な時間になりました。支援学級の児童という枠でなく、通常学級の中で、SST をどう取り入れていくことができるか、イメージできるよい機会となりました。
- ◎ ロールプレイを通して、自分でやってみて、はっと気づくことができました。やってみるものの大切さにあらためて気づきました。
- ◎ とても楽しくソーシャルスキルを実践的に学ぶことができました。支援級ばかりでなく通常学級の集団作りでも活かせるのでうれしいです。言葉の発し方、気持ちの鎮め方、教師側からの子どもの見つめ方、…。さまざまなことを教えていただきました。レジュメを大切にしながら、色々なシーンで活用していきたいと思えます。

## B 子どもの実態把握について考える ～WISC-IVの検査結果を支援に活かすために～

富田 淳 先生 (大阪府立東住吉支援学校)

検査結果をどう活かしたらよいか  
わかりやすい言葉、わかりやすい事例で、具体的な  
支援につながるお話が聴けて良かったです  
等のご意見が多くありました



- ◎ 子どもの実態把握を深め、さらに指導に活かすためにこの講座を受講させていただきました。標準出現率とパターンとかが少し理解を深めることができました。より具体的なお話でありがたかったです。
- ◎ 具体的な事例の細かい説明をして下さったので、想像しやすくとてもわかりやすかったです。今までWISCというものが今一つよくわからなかったのですが、今回の研修で理解もでき、学校の資料をもう一度読み直してみようと思いました。
- ◎ 今日の話聞いて強みになる所を伸ばしていくためのアイデアが色々と浮かんできました。テンポが良く、わかりやすい言葉で具体的に話をしてくださるので、とても安心して聞くことができました。
- ◎ ワーキングメモリーの説明での「むすんでひらいて」の体験はわかりやすく、職員への説明にも使ってみようと思いました。
- ◎ WISCの結果の見方や支援方法など詳しく教えていただき、よくわかりました。明日からの指導につなげていきたいと思います。これからも事例を教えてくださいたいと思います。
- ◎ わかりやすく説明していただき、よくわかりました。子どもの得意なところ、苦手なところを見極め、個々に応じたサポートをしていきたいと思います。
- ◎ 子どもの行動観察が重要であることがわかり、もっと観察をしなければいけないと思いました。
- ◎ WISC-IVの検査結果の説明を丁寧にして下さり、大変よくわかりました。普段関わっている児童を思い浮かべ、WISC-IVの結果がどうだったのかをきっちり見れていない気がしました。うまくいかせていないと感じたので、見直し、支援していることが適切かを検討したいと思いました。今日きくことができたのでとてもよかったです。今後、このことを大切にして、より良い支援ができるよう心掛けたいと思います。
- ◎ 検査結果を保護者から提示されることが多いので、本日の講義で、どう把握し、どう支援に活かしていくか理解が深まりました。
- ◎ WISC-IVの詳しいお話が聴けて良かった。検査結果報告書を見ただけではなかなか分かりにくいことがあったので、具体的な事例が提示されてわかりやすかった。他の事例もお聞きしたいです。
- ◎ WISC-IVについての基本的な知識を学ぶことができました。参考文献を読んで、もう少し理解を深めていきたいと思いました。そして今後の実践に活かしていければ良いなと思いました。
- ◎ 基礎的なことから教えていただきましたので、とても分かりやすかったです。具体的な話をたくさんしていただいたので、明日からの子どもたちへの支援に活かしていこうと思っています。
- ◎ WISCについて知り、その結果の分析や支援の手立てを考えるにあたっての知識が科学的に必要だと感じました。今日は分かりやすく教えていただき、支援方法が少しくリアに見えた気がします。
- ◎ WISC-IVに関する研修は今回で4回目です。最初の研修の時は自分自身勉強不足なところもありすごく難しかったです。回数を重ねるごとに自分自身の知識をして少しずつ分かることも増えてきて楽しくなってきました。今回も自校の子どもたちに重なるお話もあり、大変参考になりました。今後より良い支援ができるように取り組んでいきたいと思う研修でした。
- ◎ 巡回相談でいつも見るWISCの結果でしたが、今日先生のお話を聞いて、初めてストンと落ちました。学校に帰って子どもの検査結果を見て、指導の方法を考える時に役立つと思います。



- ◎ 通級担当としてWISCをとる機会があるのですが、今一度基本に立ち返って整理する良い学習の場となりました。とても分かりやすく良い研修だったと思います。実際の支援に結び付ける助言が大切だと改めて感じました。
- ◎ 検査の各項目の名前は知っていましたが、それが具体的に子どもの弱い力としてどう表れるのか知れて勉強になりました。
- ◎ WISC-IVの難しい内容をかみ砕いて教えていただいたので、少しいメージができるようになってきました。これから先、WISC-IVを取るための資格要件などより大変になっていて、子どもたちがお金を払わないと発達検査を受けられなくなってしまうのではないかと不安です。資格についての詳しいお話も聞いてみたいです。
- ◎ WISCを今までIQのテストのように思っていました。生徒の指導の道筋として活用します。
- ◎ 検査のことは、(検査に) 3-4年関わって、ようやく分かるようになってきました。小・中学校の先生方は、検査が身近でないため理解しにくいと思われます。継続的な研修会の開催が必要だと思います。

## C **ビジョントレーニング ～見ることは分かること～**

榎場 政晴 先生 (大阪府立茨木支援学校)

わかりやすいお話で良かった  
 教材の用意など準備いただいたことに感謝します  
 学んだことをぜひ活用していきたい  
 等のご意見が多くありました



- ◎ 視写のできない子どもにすぐにでも、ジオボードを使ってみたいと思った。通常学級でも活用できる教材でとてもよかった。
- ◎ 基本的なビジョントレーニングから、教材を使った実践まで、有意義な時間ありがとうございました。支援学級でも、個別の対応として、書字に困難さのある児童は、多数います。そういった子どもたちに対してジオボードの実践等、試みていきたいと思います。
- ◎ 字がマスにおさまらない、ななめになる、正しい字がなかなか書けない、漢字をおしいところまで書けているのに線が一本多い又は足りないなど、課題をかかえた子がいる。ジオボードのトレーニングをぜひ活用してみたい。
- ◎ 最近気になっていたビジョントレーニングを実際に体験することができてとても良かった。自分の担当の児童にすぐにでもトレーニングをしていきたいと思いました。
- ◎ ”イメージする”ということが難しいとなると話し方や見せ方を考えなければならないなと思った。言葉や経験を自分自身で理解し説明できるようなトレーニングが必要だが、具体的にどうしたらよいのか...
- ◎ 先月、他の所でもビジョントレーニングの話をききました。同じ内容の部分でも話す人によって理解の仕方が違うと感じました。今日のお話では実技もあり、あつという間の2時間でした。また、自閉症のお子さんの話など思っていなかった話もきけてビジョントレーニングの大切さを感じました。
- ◎ 見る事がいかに大きな影響を与えるかしっかりと理解することができた。

- ◎ 貴重なお話をありがとうございました。日頃は自閉症の子どもと関わる機会が多く、自閉症の子どもにも応用できそうなアイデアや実践がたくさんあり、すごく勉強になりました。模写にしても、ビジョントレーニングにしる、普通にするとおもしろくないので、子どもを楽しませるアイデアや工夫をたくさん考え、試していかないとなと思いました。手先を使うことでイメージが湧くということだったので、子どもに手先を使うトレーニングをたくさんさせたいと思いました。
- ◎ 板書で困っている生徒が多く、どう支援したら良いかを知りたくて参加しました。今日はとても多くのやり方を学びました。現場で使ってみます。
- ◎ 見る力をつけるだけで文字が見やすく書けたりするのはとてもびっくりしました。点つなぎをさせていたのですが、ジオボードを使うだけで効果が違うと知り、是非取り組んでみたいと思いました。どの話も興味深くとても勉強になりました。
- ◎ もう少しお話を伺いたかったです。見る力、見え方についてよくわかりました。子どもたちの見え方をチェックし、教えていただいた教材やゲームのようにできる活動を通してトレーニングしてみたいと思います。ビジョンについてももっと勉強したいと思いました。
- ◎ 見本（実物）を見せてもらいながら、実際に取り組みながら、話を聞かせて頂く事で分かりやすく、又これから指導していくときに「こうしてあげたらいいねんな」という事がイメージしやすかったです。自分が勉強を教えている子に、少し気になる子がいるので、取り組んでみようと思います。
- ◎ イメージする力を育むことの重要性がよくわかりました。視覚支援の先生のお話も是非お聞きしたいです。教材教具をこれからの授業に利用していきます。
- ◎ 多くの支援方法を教えて頂き大変勉強になりました。日々のかかわりの中で悩んでいたことが解消される場面が何度もありました。
- ◎ ビジョントレーニングの必要性は感じながらも、実際にどんなトレーニングが良いのか分からなく、やらなかったけれど、本日は実用的、即実践できるトレーニング方法と実際に子どもがどう変わったのかという例を示していただき、元気が出ました。
- ◎ たくさんの教材を紹介して頂き、100円ショップで手に入れる物もあったので、ためしてみたいと思いました。成果も見れて、ビジョントレーニングの効果をあらためて知る事ができました。とても勉強になりました。
- ◎ ビジョントレーニング、中学のテニス部の生徒にも試してみたくなりました。

## D 研究部担当 各地区からの実践報告

### すべての子どもたちにわかりやすい算数を

### —村上タイルを使った〈なんとなくわかる〉からはじめる算数—

坪郷 正徳 先生（大阪狭山市立第七小学校）

学校で活かしたい、具体的な説明で良かった  
教材作成の準備たいへんだったと思います  
準備など熱意あるご指導に感謝します

等のご意見が多くありました





- ◎ 先生の細かい視点がすごいなあと思いました。担任している子どもたちにすぐに実践できそうです。
- ◎ 具体的にできる内容を教えてもらえて本当によかったです。日々悩んでいることが随分すっきりしました。
- ◎ 実際指導で困っていたところの指導法を教えていただき、月曜からまたやってみたいと思いました。
- ◎ すぐにでも実践してみたい方法でした。子どもの苦手なところに寄り添っておられて本当にすごいなと思いました。その子に合った指導法を探していきたいと思いました。
- ◎ あっという間の2時間でした。数量感覚のお話が自分のなかにすんと落ちました。数量感覚を目から学ばせていくことはとてもわかりやすいですね。コツコツ続けて行こうと思います。
- ◎ 視覚教材、経験してできる楽しい学習方法を学び、よかったです。くり上がりくりさがりの難しい児童を目に浮かべ、即実践したいと思います。
- ◎ 今担任している子が2年生に進級するにあたって、指の使い方を指導し始めたのですが、もうちょっと粘ってタイルで指導していく自信ができました。
- ◎ 名前に惹かれてこの講座を選びました。あついお話おもしろかったです。子どもたちが実際にタイルを目にして操作して学習を進めていくうちに数量感覚がみについていくのだろうと思いました。
- ◎ 普段自分の感覚で筆算を入れたりタイルを持ち込んだりしていますが、外れてはないと思えました。量感覚につながる指導の足りなさは私も感じています。タイルは大人もさわってスキルアップが必要だと感じました。
- ◎ 最近1年生の算数に入り込み支援をすることが多く、1年生の算数ってとても難しいのだなと驚いていたところなので今日の研修は勉強にもなったし、教えるときに役立つと思いました。何も無いところから数という概念を教えるということはとても難しい事なのですね。でもこのタイルを使えば頭の中で想像するきっかけを踏めそうで、数について考えるという練習になりそうだと思います。教室でも実践できるよう練習してみます。
- ◎ 村上タイルはオレンジと黄色ですが、色覚障害でオレンジが見えづらい子がいます。黒板では何色が良いか教えて下さい。
- ◎ 村上タイルは初めて知りました。7や8は色が違うと認識しやすいこと、ひきざんは5も2もとらせて2を白く裏返すことよくわかりました。
- ◎ 大変勉強になりました。以前中学校支援学級を担当した時、ダウン症の生徒がいつまでたっても1ケタの足し算ができずになかば指導をあきらめたことがあり、(10年以上前)悔やまれます。あの時このタイルの方式を知っていれば彼女の数的概念がもしかしたら向上したのかな... と思いました。  
「入力→思考→出力」を算数の概念に置き換えられたところや、「読み→かき→計算」のステレオタイプの考え方をみごとに覆して?教えていただいたことなど目から鱗の思いがしました。現場に持ち帰り、共有していけたらと思います。
- ◎ 5までのかたまりで教えた方が... と思いながらも教科書に合わせて10の補数で指導していました。個に合わせて指導できる支援で、村上タイルを使って量感覚をつけていこうと思います。
- ◎ とってもためになった。分数や小数も使ってみたい。



## 2. この研修会の運営全体についてのご意見をお書きください。

(参加申し込み～事前準備～当日運営 その他)

何人もの方から、内容設定・運営について高く評価いただきご意見をいただきました。  
ありがとうございました。

- ◎ 申し込みは、返信も早く、いたってスムーズでした。
- ◎ インターネットを通じて申し込めたのがよかったです。
- ◎ 毎年ニーズにあった研修をしていただくので毎年参加しています。お忙しい中で運営してくださり有難いです。
- ◎ 申し込みと違う講座に移動できる可能性もほしかった。
- ◎ すぐに人数が埋まったということなので、とてもよい研修だったと思うので、より多くの先生方に聞いてもらえたらと感じました。
- ◎ 午後のビジョントレーニングの研修も受けたかったので、また研修していただければありがたいです。
- ◎ ご丁寧な会場案内ありがとうございます。
- ◎ 参加申し込みをしても、行けないことがあるので、希望枠を増やしていただけるといいな、と思います。
- ◎ 午前午後の中の休憩時間が長く感じました。1時間あればよいと思います。
- ◎ どちらも（ソーシャルスキルの研修と子どもの実態把握の研修）資料がコンパクトにまとめられていて、すごく勉強になりました。午前、午後、2時間半ぐらいがちょうどよい。間に10分の休憩を入れる。

## 3. 大支援研として、これから、どのような研修会や講演会を行えばよいでしょうか。

できれば、具体的なご提案やご意見をいただければ、幸いです。

- ◎ ライフスキルトレーニング
- ◎ 支援教育コーディネーターの役割の1つとして、新1年生（小学校）の入学説明会等でどのようなことをお話していったらよいのか。（支援教育の理解を広めるにあたり）
- ◎ 配慮を要する児童や支援学級に在籍児童のいるクラスの子どもたちへの理解をどう得ていくのか。
- ◎ 今までのように教育現場ですぐに役立つ内容をしてください。
- ◎ 集中トレーニングの研修
- ◎ 支援が必要な児童の保護者への相談のやり方やアドバイスのしかたについて
- ◎ 感覚統合、ブレインジムの手軽で楽しい実践方法があれば教えてほしいです
- ◎ 毎回この講座が（夏も含めて）満員になり参加できず悲しい時があります。場所をもう少し広くして、参加人員を増やしていただけるとありがたいです。
- ◎ 支援を要する児童・生徒と不登校（起立性調節障がいなど）についての研修、講座。
- ◎ 事例検討会
- ◎ 具体的な事例をあげ、支援の方法をグループワークとして考える研修
- ◎ 自閉症スペクトラム理解の講演会
- ◎ 支援児童に対する性教育
- ◎ 通常学級生に対する支援教育
- ◎ いろいろな事例からみるアセスメント方法
- ◎ 教材等の例で小学校の内容が多い。中学校で活用できる内容、教材実践例も知りたい。
- ◎ 本日のような普段にいかすことができることを研修、講演していただけるとためになります。またこのような機会があれば参加したいです。
- ◎ 言語療法、作業療法と学校での取り組みをつなぐ。

- ◎ W I S C -IVなどの検査の専門的な内容が聞けるとありがたいです。
- ◎ 特別支援教育の世界の潮流と大阪の支援教育の流れとのギャップ
- ◎ ふだんの実践に役立つこと
- ◎ ユニバーサルデザインの教室例
- ◎ 支援での性教育
- ◎ コーチングについて
- ◎ 愛着障がいについて
- ◎ また。コグトレ お願いします。
- ◎ 算数も受けたかったです。
- ◎ ビジョントレーニングのような参加型だと楽しく学べます。
- ◎ 教材作りは明日から使えるのがうれしいです。
- ◎ ひらがな、カタカナ、漢字など字のバランスのとりにくい子の指導について。
- ◎ 今日のように教材をいっしょに作って下さる研修会はとてもありがたいです。
- ◎ 特別支援の基本的な内容を希望します。

※ アンケートにお書きになられた貴重なご意見に対して感謝申し上げます。  
今後の参考にさせていただきます。

☆ 参加申し込みについて、準備の関係で事前の申し込みをお願いしています。煩雑さを避けるため、インターネットのサイトからの申し込みに一本化させていただいております。ご理解ください。  
もし何か事情がある場合等は、大支援研のサイトのトップページの「お問い合わせ」、あるいは担当者へF A Xで連絡をお願いします。

一部、学校のネット環境などの関係で、w e bでの申し込みができない方や、返信メールが届かない事例などもありました。その場合、電話・F A X等で問い合わせいただければ、必要な対応をさせていただきます。

☆ 参加申し込み状況に応じて当日の会場配置を決定し、1週間ほど前より大支援研のHPで案内させていただきました。今後も必要な案内をさせていただきますのでw e bサイトをご覧ください。

☆ 当日の運営に携わっていただいた各支部の役員の先生のおかげで良い研修会になりました。役員の皆様、本当にありがとうございました。

☆ 大支援研ニュースを府内各校にメール配信していますが、不十分なところもあり、そのために情報が伝わっていないとも聞きます。今後の改善の検討が必要と考えます。  
一部市町村や支援学校などで、関係教職員にメール転送されているところ、案内文配布がされているところがあり、それで知ることができた、という声もありました。各市町村・学校でご協力いただいていること感謝します。

会場の定員の関係で参加できなかった方が多くおられ、  
申しわけございませんでした。

今後の研修会の運営等について検討し、よりよい研修会を目指していきます。

## 2016年度 夏季研修会 報告

今年度の夏季研修会は、立命館大学教授の宮口幸治先生をお招きし、「コグトレ～認知機能強化トレーニング体験と認知作業トレーニング・ワークショップ」という題で、8月1日14時からグランキューブ大阪で行いました。



宮口先生は、これまで宮川医療少年院などで発達上の課題がある少年たちへの支援に長年取り組まれ、その成果を学校現場などに紹介している方です。

今回のワークショップでも、みる、きく、想像する、といった基礎学力の土台が弱く学習面で困っている子どもたち、不器用で身体面で困っている子どもたちのための新しい支援方法を体験することができました。

当日、早くから参加者が熱心に集まり、先生方の関心の高さがうかがわれました。ご講演いただいた内容は、発達障がいや知的障がいのある子どもたちの学習支援につながる認知機能強化トレーニングと不器用な子どもたちへの認知作業トレーニングで、すぐにでも使えることばかりでした。

講演前半は、1つの絵を示しながら、これをきちんと模写できない子どもたちの困り感の話からスタートし、見る・聞く・想像するための認知機能強化トレーニングをひとつずつ説明していただきました。板書を写せない子の練習になりますとか、聞く力や集中力がついてくるようになりますとか、本当にひとつずつ丁寧に話していただきました。

後半は、認知作業のトレーニングということで、コグトレ棒(新聞紙を丸めて作った棒)を使って自分の身体や力加減を知ることから始まり、コグトレ棒を片手でいろんな方向に回したり、複数の人が集まってコグトレ棒を隣の人に送ったりしました。また、グループでつまようじを積むことや、人の動きをまねしたり、動きを言葉だけで伝えたり等、いろいろなことをやりました。盛りだくさんのことを参加者皆さんで過ごすことができ、本当に楽しく、有意義な講演でした。(時間の関係で、少し、はしょった内容になりましたが、それでも十分満足できる内容でした)



また、機会があれば、宮口先生の講演会に参加させていただきたいと思います。参加された方のアンケート集約したものを別途まとめてありますのでご覧ください。

会場の定員の関係で参加できなかった方が多くおられ、申しわけございませんでした。今後の研修会の運営等について検討し、よりよい研修会を目指していきます。

# 2016年度 夏季研修（2016年8月1日 グランキューブ大阪）

## 参加された方のアンケート 集約

大支援研 研修部

参加された皆様 アンケート ご協力ありがとうございました。

講師の方にお伝えするとともに、今後よりよい取り組みを行えるようにするための参考にさせていただきます。

文章表記等、基本的にお書きになった原文そのままにしておりますが、一部、必要に応じて書き換えさせていただきました。ご了承ください。また、講師の方へのお礼の言葉等、同じような意見を複数の方がお書きになっている場合については、割愛させていただきました。

### 1. 講演・ワークの内容について ご感想、ご意見をお書きください。



- ◎ 具体的ですぐに使える研修でそれぞれのワークの意味もわかりやすくとてもよかったです。
- ◎ 実際に使える内容をたくさん教えて頂き大変良かったです。
- ◎ 体験型のワークが、とてもよかったです。理論だけでなく、実体験をふまえた講習会を今後も取り入れてほしいです。
- ◎ とても楽しみにしていました。昨年宮口先生のご講演を聴き、本日はワークショップもありでとてもよかったです。2学期には生徒とやってみます。楽しみです。
- ◎ とてもよかったです。さっそく購入して実践していきたいです。2学期に向けて元気が出ます。
- ◎ 体を動かしてワークができました。子どもたちに伝えて、能力を高める実践をしていきます。
- ◎ もう少し長い時間研修してもらえればよかったです。大変興味深かったです。

（以上の意見と同様の内容を多くの方が書いておられました）

- ◎ 学校でこれをしているのですが、同僚が昨年度研修で知り、ワークをコピーし学習に取り入れていました。私自身も宮口先生から直接教えていただきたいと思い、この研修会に参加させていただきました。よく分かりよかったです。2学期からは、どのワークがどんな子にふさわしいかも、よく考え行っていきたいと思います。
- ◎ とてもいい学びができました。実際IQなど改善しているという話がとても驚いたし、取り組んでみたいと思いました。
- ◎ 「苦手なところはおいておいて、良い所を伸ばして、補おう」というアプローチに対して「苦手なところは本当に伸びないのか」「そのまま放置してしまうのは、二次障がい」と言われたの言葉が耳に残りました。そして、継続的にコグトレをして知的な数値が伸びた例をお聞きして、継続的な取り組みの重要性を痛感しました。



- ◎ 通級担当ですが、2学期、あの子に使ってみようと思い浮かべながらお話を聞いていました。宮口先生が最後に言われたことば「1人200万円かかっています。学校教育が充実すれば、必要なくなる」保幼少時代から課題があることに国の役人の方たちが早く気が付いてほしい。学力は今日のお話で聞いた力の上に成り立っていくことを理解してほしいと思います。



- ◎ 子どもたちの顔を思い浮かべながら研修をうけました。すぐにでも使える内容がたくさんで2学期からの支援、指導の参考にさせていただきます。お忙しい中の研修、ありがとうございました。以下に悩んでいることを書かせていただきました。
  - 犯罪を犯してしまった子どもについて学校現場で気づかない場合もありますが、小さな（初期の）段階でそれを伝えようとしてもなかなか保護者には伝わらない、又、伝えにくいケースも多々あり最終段階までいかないとわかってもらえないのかと思って落胆することもあります。いかに、保護者にわかってもらうか、伝えるかが、学校現場での悩みになっています。  
「家でみます。よく言って聞かせます」「うちはそういう方針だから」また、話そうとしても取り合ってくれなかったり、自分の子を「障がい」扱いしたと怒り出したりわかってくれるお家に優先的に対応していかなければ仕方ないですが問題の大きさと優先順位が合わないこともあって、それも悩みになっています。
- ◎ 夜中NNNドキュメントを見て、ぜひわが中学校(一般の生徒)にも合っていると必要性を感じました。大変わかりやすく、ますます必要性を実感しました。取り入れる方向で検討したいと思っています。
- ◎ 本日は講演、ワークに参加させて頂き、大変勉強になりました。特活・総合の授業などで取り入れていき、体幹などを鍛えていけたらと思います。
- ◎ 先日、宮口先生のコグトレの研修を受けて今日で2度目です。学校でも早速棒を使ってやっています。みんな確実にうまくなっています。今日の6人グループのトレーニングを、又、2学期から取り入れたいと思います。
- ◎ 今日の研修は、すぐに実践できる内容であり、教材の紹介もしていただき、2学期から取り入れていきたいです。私自身もワーキングメモリーを鍛え、子どもたちの学力を伸ばしていきたいです。
- ◎ ワークショップ型の研修だったので、楽しむことができた。自分で体験することによって、どのレベルまで子どもたちができるのか、できないのかを理解することができた。2学期、授業の中でコグトレを取り入れようと思った。
- ◎ コグトレの内容(中身)と活用法を知ることができてよかったです。実際に子どもたちに絵を描かせたりしてみたいと思います。
- ◎ トレーニングによって成長することがわかり、子どもにとって必要な支援をがんばろうと思いました。実践できそうなものがたくさんあり勉強になりました。
- ◎ 講義を前半受けて、後半にワークを実際に体験してとてもよかったです。自分でも自分の体の感覚のバランスがいかに大切か体験してわかりました。
- ◎ 通級担当の研修でもお聞きし、今回も是非と思って参加しました。さらにたっぷりワークができてよかったです。体のこと・・・自分にも役立ちそう(笑)不器用な子どもにもっと粗大運動も取り入れたいと思いました。



- ◎ コグトレを聞いたのは初めてでした。学校教育の中でできることを少しでも取り入れていきたいと  
思います。なにか接する気持ち、態度も違ってくるように思いました。本を買って読んでみたいと思  
います。
- ◎ 今日の話のように、本当に子どもたちが変われたらどんなに素晴らしいでしょう。ぜひ、2学期から  
取り組んで子どもたちの様子をみたいと思います。体幹にはとても興味があり、姿勢保持のできない  
子をなんとかしたいと思っているのでいろいろ勉強になりました。
- ◎ 学校にもコグトレの本があるのですが、ずっと眠っていました。2学期には、まず、自分のクラスの  
子どもたちから始め学校全体の発信していけるようにしたいと思います。
- ◎ 大変興味深い内容で学校へ戻って2学期にトレーニングさせてみたいと思う。生徒の顔が数多く浮  
かびました。時間をとることが難しいとは思いますが、やってみようと思います。
- ◎ 昨年、先生の話聞き、今年はワークがあるということで参加しました。非常にわかり易いお話と楽  
しいワークでした。授業の中でトレーニングを取り入れていくようにしたいと思います。
- ◎ ワークもあり大変充実した研修でした。宮口先生のお話は以前、府のセンターで聴かせていただ  
いたのですが大変わかりやすく、即本も購入し、子どもたちと取り組んでいます。今回、コグトレ棒  
のワークがたくさんありとてもわかりやすかったので、2学期にも生かしたいと思います。あつと  
いう間に時間がたち、まだいろいろお話が聞きたかったです。
- ◎ 授業でコグトレを取り入れ始めています。最初でポンをする時に最後まで聞かないですぐ書いてし  
まう子どもがいるので、記憶力トレーニングのためには、2～3文の終わりまで書かないでがまん  
させる方がいいですね。新聞棒は子どもたちが喜んで取り組みます。2学期からもっと組み  
たいと思います。
- ◎ ワークでの棒や爪楊枝を使ったトレーニング、プリントでの認知機能トレを  
夏休みあけから少しずつしていこうと思います。また、社会性のトレーニング  
についてのお話を聞かせていただきたいです。
- ◎ 座学とワークがバランスよく配分されていて大変わかりやすかったです。
- ◎ 宮口先生のお話をぜひ聞きたいと思っていたところ、参加できよかったです。夏休み中に、今日学  
んだことを整理し、2学期に向け準備し実践していきたいです。もう少し詳しく聞きたいです。他  
の先生にも勧めたいです。
- ◎ 具体的な事例をもとにお話ししていただき、私にでもよく理解できたと思います。担任している  
子、学校で目立つ存在になってる子など、何人もの顔を思い浮かべながら伺いました。できること  
から少しずつ取り組んで、子どもたちの表情が少しでも明るくなればいいなあと思います。
- ◎ とても楽しく参加できました。「コグトレ」という意味が参加するまでわからなかったのですが、よ  
くわかりました。知らないこといっぱい知れてよかったです。自分の教えている子の顔を浮かべな  
がら動けました。
- ◎ とても楽しいワークショップでした。ありがとうございました。支援児童だけでなく、通常学級児  
にも大切だなと思いました。知的障がい児もトレーニングでIQが上がると聞き「すごい」と驚きま  
した。2学期からコグトレを取り入れたいです。



- ◎ 「コグトレ」は学校でも本を見ながらやっていたのですが、ぜひ宮口先生から直接お話を伺いたいと参加しました。実際にコグトレ棒を使ったワークも体験でき、よかったです。4人で参加したので、また学校、そして市教研の方でいかしていきたいと思います。
- ◎ 「コグトレ」というのがどんなことをするのかわかりました。子どもたちも楽しんで取り組めるような動作だと感じました。「コグトレ」を行う前と後（結果）を教えてくださいましたのでどれだけの効果があるのかわかりやすかったです。ぜひ、ものにして、学校で行いたいです。
- ◎ 目の前で接している不器用、ワーキングメモリーが弱い子どもに対して具体的にこの活動をすれば、続けられいいということがわかりよかったです。自分の学級においても継続して取り組みます。
- ◎ 認知行動について少し理解できました。教師が二次障がいを作らないようにしたいと思います。2学期から生かしていきたいです。
- ◎ 日頃からコグトレのトレーニングを子どもたちとしています。その子どもそれぞれに合ったコグトレをさらに実践して、できることを伸ばしつつできないことも補えたらと思いました。貴重な講演でした。
- ◎ とても興味深い内容でした。ぜひまた、いろいろなお話を聞きたいです。ブレーキがきかない子どもたちに、ワークをやらせてみようと思います。
- ◎ コグトレの内容がとても興味深く、2学期からさっそくやってみたいなと思いました。WISCを見て、どこが弱いのが分かって、どう改善してあげればいいのか分からず困っていたのでとてもよかったです。後半のワークショップは自分自身の脳活にもなりました。
- ◎ いろいろな子どもの姿を思いうかべながら聞くことができました。認知の弱さからきている行動や姿であることを改めて感じ、”苦手なところを伸ばす”ことを積み重ねていきたいと思い直しました。ありがとうございました。学校の校内研で今日のような内容を職員と共有したい。
- ◎ 大変参考になりました。ゲーム感覚で行えるのでぜひ実践したいと思います。
- ◎ 詳しく伝えることって難しいものだと思います。どれも楽しくできました。今後の実践に役立てていこうと思います。
- ◎ 実践的で楽しい内容でした。コグトレの内容をまた改めて検討してみたいと思いました。
- ◎ 先生のお話にとっても感銘を受けました。学校が何かしらの手立てを考えるとと言われても、どうしてよいのかわからないのが現状です。病院は診断を出すだけと言われて、中学校などはどうしたらいいのかという悩みに先生の話はとても答えてくれるものでした。学校でもやってみたく思います。
- ◎ コグトレの効果にはとても驚きました。私自身もとても楽しかったので、自立活動に取り入れてやっていきたいと思います。
- ◎ 以前から認知能力を高めることが学習や動作の能力を向上させることにつながることは理解していましたが、今回改めてその必要性を理解させて頂きました。トレーニングが訓練と聞くと身構えてしまいがちですが、今回のようにみんなで楽しみながら取り組めると子どもたちの意欲もとても高まると思います。自身が勤務している視覚支援学校では、視覚に障がいのある生徒がおり、今回の内容に合ったバランスや体幹トレーニング、動作や姿勢を言葉で伝える力は必要とされる力です。また勤務校の同僚にも今回の研修内容を伝えられればと思います。



- ◎ 講演で、自分自身が子どもたちの限界を決めていた（学力）なあと反省しました。
- ◎ 昨年も講演を聞かせていただいたのですが、なるほどと感心するばかりで、なかなかいかせずにいたのですが、今年も聞かせていただくと内容がよりわかり、誰にどのワークが使えるかなど考えながら聞くことができました。ワーキングメモリーが低い子が多いので、2学期から使っていきたいし支援担に広めたいと思います。
- ◎ 何度か宮口先生のコグトレの学びを体験させてもらっています。今日の3人組で立ち上がるのが今でも感動。本を活用させてもらっています。通級の指導のメニューに何パターンかしています。数分ずつですがパウチしたりして何回も使えるようにしているのもあり、生徒が自信をつけてやっています。
- ◎ とても良かったです。種々なものを寄せ集めて使っていたのを一貫した考え方を元に組み立てられているのがよく理解できました。
- ◎ 暑い中でしたが参加できてとても良かったです。学校に一冊を置いてもらっています。使い方がよくわからずにいたのですが、今回のように説明していただき大変よくわかりました。今後に活かします。気になる子に限らず、全員に試してみても、どんな力が弱いのかをチェックしていく必要がありそうですね。そういう統一テスト？検査は、どこで誰が一斉にした方がよいのかな？

2. この研修会の運営全体についてのご意見をお書きください。

(参加申し込み～事前準備～当日運営 その他)

- ◎ DVD がなくても実践できるものを図入りでレジュメにしてもらえればよりよいかと思いました。
- ◎ 準備、運営、いろいろ大変だったと思います。たくさんの先生方にお世話していただきありがとうございました。
- ◎ コーチをつけていただいたのでグループ活動がスムーズでした。
- ◎ 補助の先生がいてくださったので、実技の時にこれでよいかかわかってよかったです。
- ◎ コリダーの先生のフォローありがたかったです。
- ◎ わかりやすい進行でした。とても親切で、スタッフの方に感謝します。
- ◎ 6人にヘルプして下さる先生が1人ずついてとても助かりました。
- ◎ スムーズに申し込みました。当日も楽しく有意義な時間を持つことができました。ありがとうございました。
- ◎ 班に1人スタッフがついて下さり、スムーズに実施できました。
- ◎ 各班にリーダーを配置して下さったのでよく理解できました。ありがとうございました。
- ◎ 申し込み方もわかりやすかったです。
- ◎ 本を販売してほしいです。
- ◎ 準備物もあり、たくさんの先生方がいたれりつくせりでお手伝いして下さり、とてもありがたいと思いました。
- ◎ いろいろと、案内、アドバイスをいただき、感謝しています。わかりやすかったです。



- ◎ グループリーダーもおられ、大変スムーズな進行だったと思います。お世話になりありがとうございました。（また、大支研の夏季研は人気だからと聞き受付すぐに申し込んだのですが、すぐ定員になったと聞きました。内容もよかったので、本校でもたくさんの人に伝えたいと思います。
- ◎ サポートしてくださる先生方が、わかりやすくアドバイスを下さり、とてもやりやすかったです。
- ◎ 室内温度が少し低めかなと思いました。動き出すと、冷汗が出るくらいでしたが。
- ◎ 当日、複数の方がサポートして下さり、よりわかりやすかったです。準備もたいへんだったと思います。
- ◎ HP の提示の仕方、申し込みの仕方、よかったです。スムーズに申し込むことができました。
- ◎ すぐに定員がいっぱいになると聞いてあわてて申し込みました。来れてよかったです。
- ◎ 新聞紙は、3日分というアナウンスより、20枚必要と最初から伝えておくとき短になったと思います。
- ◎ 参加申し込みを今回 FAX で一緒に申し込ませて頂いたのですが、申し込みとして承認して下さりありがとうございました。メール以外でも参加申し込み OK にしていただけるととてもありがたいと思います。
- ◎ メールでの受付連絡等、迅速に対応していただきありがとうございました。”残り何名”かが分かる と焦らずに（または急いで）申し込みができるかなあとと思いました。

※ 夏季・冬季研修会については、インターネットでの申し込みを基本とさせていただきます。受付事務につきまして、ご協力いただき有難うございます。

一部、学校のネット環境などの関係で、webでの申し込みができない方や、返信メールが届かない事例などもあります。その場合、電話・FAX等で問い合わせいただければ、必要な対応をさせていただきました。

従来、申し込み状況を「あと〇〇名」と、お知らせすること多かったです。今回は2日目の17時台に参加定員に達したため、状況報告する余地なく終わりました。参加申し込みされた方に感謝申し上げますとともに、参加できなかった多くの方にお詫び申し上げます。



3. 大支援研として、これから、どのような研修会や講演会を行えばよいでしょうか。できれば具体的なご提案やご意見をいただければ、幸いです。

- ◎ ぜひ、コグトレ第二弾を。
- ◎ 宮口先生のつづきの研修（感情等）も受講したいです。
- ◎ 宮口先生の話、また聞きたいです。今日のような実践的な内容の研修に参加したいです。日々の学習で取り入れていけることを教えていただくと助かります。
- ◎ 実際に自分が体験しながら学べる活動がよい。
- ◎ すぐに学校（支援学級）で使えるトレーニング
- ◎ 今日のような体験形式だと、眠くならず内容も頭に入りやすかったです。
- ◎ ワークショップを実践に生かし、子どもがどのように変化していったかの報告等。
- ◎ 今日のようなすぐに使える内容だとありがたいです。これからはいろいろな内容をお願いします。また、支援担になって日の浅い先生を対象にしたり、支援担だけでなく、通常学級担任にも使える内容の研修にもこれからは取り組んで頂ければと思います。
- ◎ 各学校での合理的配慮と成績との関わり
- ◎ 問題行動に対してどうアプローチするのがいいのか具体例を提示しつつ。
- ◎ 即、授業の現場で使えるものがあります。ビジョントレーニングなども勉強したいです。
- ◎ 実際にすぐ学校で使える教具、教材作りをもっとしたいです。（例えば、目と手の協応作を訓練できるものなど。）あと、工作なども。
- ◎ 本日のような現場で使えるトレーニング。支援学校ではなく現場の中学校で行われている合理的配慮の具体例
- ◎ 実践ですぐ使えるもの。どういう視点で子どもを見るか、多角的な視点からの教えを知りたい。
- ◎ ワーキングメモリー、聞く力、見る力を養うためのトレーニング
- ◎ 宮口先生のように他機関の方（視線）からのご講演、たくさん聞きたいです。
- ◎ 教材紹介。ブレインジム（学習障がいの子たちへのエクササイズ）
- ◎ 七田式チャイルドアカデミーのビジョントレーニング方法も聞いてみたい。





2016年度 行事部主催 施設見学研修会 報告  
～かんでんエルハート～

2016年8月23日（火）①10時から11時30分

②13時30分から15時

今年度の施設見学研修会は、住之江区にある「株式会社かんでんエルハート（重度障がい者多数雇用事業所）」を見学させていただきました。今回は多数の参加申し込みが予想されたため、「かんでんエルハート」のご協力を得て午前と午後の2回に分けて実施しました。

「かんでんエルハート」は大阪府・大阪市、関西電力が出資して第三セクター方式で設立された特例子会社で、20年以上の歴史があります。現在は住之江本社のほか、府下に3か所の事業所があり、知的障がいの方をはじめ、肢体不自由、聴覚障がい、視覚障がい、内部障がい、精神障がいの方が、それぞれの特性に配慮された職場環境の中で、各々の能力が発揮できる業務についておられます。

当日は、はじめに業務サポート課の浦川氏から会社の理念や事業概要について説明を受け、つぎに関西電力本社内での事業や社員育成の様子についてビデオで紹介していただきました。そのあと、2班に分かれて施設を見学しました。いろいろな障がいのある社員の方々がきびきびと働かれている様子や、障がいに配慮された施設設備を見せていただき、直接社員の方から事業の説明を受ける機会や作業の実演を見る機会も設けていただきました。見学後は質問の時間をとっていただき、雇用の条件や待遇などの質問にも丁寧にお答えいただきました。障がいのある子どもたちの「社会参加」「自立」を考えるにあたって示唆に富む内容ばかりで、たいへん充実した研修会となりました。



業務の説明について伺ったことを、いただいた資料をもとにつぎにまとめます。

## 1. 会社について

- 開業時期 開業 平成7年4月1日 設立 平成5年12月9日（障がい者の日）
- 事業形態 関西電力と 大阪府、大阪市出資による第3セクター方式の特例子会社
- 従業員数 170名（うち障がい者116名）
  - 知的障がい者 60名（うち重度知的障がい者：10名）
  - 身体障がい者 46名（うち重度身体障がい者：41名）
  - 精神障がい者 10名



## 2. 業務内容について

○拠点事業所 本社（大阪市住之江区） 66名勤務

ビジネスアシストセンター（大阪市北区 関西電力本店ビル内） 72名勤務

茨木アシストセンター（大阪府茨木市） 19名勤務

高槻栽培センター（大阪府高槻市） 13名勤務

○事業内容 デザイン・印刷 【本社】 <今回見学>

・チラシ、ポスター、パンフレット等、デザインから大量ロット印刷まで受託。

商事 ノベルティ商品発送、DM封入封緘、非常食等の販売【本社】（今回見学）

・関西電力およびグループ各社で用いるノベルティ商品の包装やDMを発送。

・非常食、防災備蓄用品などの販売。

メールサービス 【ビジネスアシストセンター】 <今回VTR視聴>

・郵便物・社内連絡便の受発信、分別ごみの回収。

能開センタートータルアシスト

・関西電力能力開発センター内の日常清掃業務と事務アシスト業務。

本店事務アシスト

・関西電力本店内の「シュレッター」「コピー用紙補充」等を代行し、関電社員がコア業務に専念できる環境づくりをサポート。

図書室運営業務

・関西電力本店ビル内にある図書室を運営。

ヘルスケア ヘルスケアマッサージ 【ビジネスアシストセンター】

・関西電力本店および厚生施設にて社員等への産業マッサージを実施。

・関西電力の88事業所にてセルフケア講習会を実施。

貸農園運営・管理 【高槻栽培センター】

・貸農園の運営管理

園芸 花壇管理【本社】 <今回見学> 花卉栽培【高槻栽培センター】

・関西電力事業所の花壇を管理。

・使用する花苗を高槻栽培センターで栽培。



## 3. 20年を経て気づいたこと

○従業員に対する合理的配慮

・平成7年～ : バリアフリーの社屋

・平成18年～ : 企業在籍型職場適応援助者養成開始

各部署に3名程度ジョブコンダクター、  
ジョブコーチを置いている。

・平成21年～ : 社内カウンセラー導入・短期間勤務制度の活用

○働くために必要なことは

・「知的障がい・重度身体障がい者もサポートがあれば働ける」ただし、就業準備性が整っていることが必要である。

- ・働くための土台である「日常生活・基本的な生活リズム」と、「心と身体の健康管理」が整っていない場合は、社会でどれだけ支援しても、働くことは難しい。

#### ○支援者の役割の明確化

- ・就業継続のために、所属長・リーダー、サポートチーム、主治医、家族・支援者がそれぞれの役割で支援している。

#### 4. 参加者の感想～アンケートより抜粋～

- ・普段では、なかなか見ることができない障がいのある方の仕事をしている様子を見ることができてよかったです。また、生き生きと働かれている姿や言葉遣いやあいさつ等とてもしっかりされていて、子どもたちにもしっかりと教えていかななくてはいけないと改めて思いました。
- ・就労準備性の大切さを改めて感じました。小学校から少しずつつけていけるようにがんばります。
- ・概要説明、見学等のバランスがよかった。説明も大変わかりやすかった。実際に働いている方の様子や直接の説明を聞くことができてよかった。
- ・施設内の様々なバリアフリーを拝見させていただき、一人ひとりの身体面に合わせた配慮がなされていてとても勉強になりました。また、個人の特性に合わせた職務内容を割り当てられているということだったので、適性も高くお仕事ができる環境があり、将来の道の一つとしてこのような場があると知ることができてよかったです。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすく丁寧に説明していただいたので、大変よく分かりました。かんでんエルハートさんのような会社が増え、障害のある方が生き生きと働ける場所が増えるといいなと思いました。
- ・具体的な業務内容や配慮について知ることができ、就労についてのイメージが持てました。社内カウンセラーが様子を気にかけてくれるようなサポート体制があり、安心して働くことができると思いました。
- ・ビデオ視聴があり、実際働いている人がどういう人なのか、職場状況も見ることができ、実感することができました。質問の答えも具体的な話が聞けてよかったです。
- ・障がいのある方の就労先の受け入れ体制や合理的配慮の充実についてよくわかりました。小学校でも就労準備性に近づいていける基礎的なスキルを身に付けさせたいと思いました。
- ・障がい者の働く場所には福祉的なイメージがあったのですが、社会人として自立しているなあと感じました。作業能力だけでなく仕事を続けられるサポートがあるのは良い環境だと感じました。
- ・学校でも取り入れたい支援がいくつもあり、働きやすくする工夫が見学してよくわかりました。
- ・施設説明を細かく案内していただきありがとうございました。他の施設見学ではなかったのは、実際に働いている方のお話や仕事を聞いたり、見たりさせてもらってありがたかったです。
- ・小学校勤務ですが、将来働くためには、今どんなことをしておかないといけないのか・・・ということを考えました。

以上、今年度の行事部主催の施設見学研修会の報告とさせていただきます。（株）かんでんエルハートの方々、当日はお忙しい中、本当にありがとうございました。末尾ながらお礼申し上げます。

大阪府支援教育研究会 行事部